

平成30年度 手賀沼トラスト特別コース 栽培計画集計表

2018/6/02

No	栽培作物 (50音順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	農 教 室	合 計
		大 森	矢 内	村 山	佐 野	高 橋	宮 坂	福 田	小 高							
1	さといも	○	○	○	○		○	○	○						○	7
2	じゃがいも	○	○		○		○	○	○						○	6
3	だいこん	○	○	○	○			○	○						○	6
4	たまねぎ	○		○	○		○	○	○							6
5	とまと	○	○	○	○			○	○							6
6	なす	○		○	○			○	○							5
7	にんじん	○		○	○			○	○					○		5
8	きゅうり	○		○	○				○							4
9	とうもろこし	○			○		○		○					○		4
10	ねぎ	○		○	○				○					○		4
11	ピーまん	○			○		○		○							4
12	かぶ	○	○		○											3
13	かぼちゃ	○	○						○					○		3
14	ぶろっこりー	○			○				○							3
15	ほうれんそー	○			○				○							3
16	れたす	○			○				○					○		3
17	えだまめ				○		○							○		2
18	おくら		○						○							2
19	きゃべつ				○				○							2
20	こまつな		○		○											2
21	しゅんぎく				○				○							2
22	しょうが			○	○											2
23	だいず	○	○													2
24	いんげん				○											1
25	えごま		○													1
26	こむぎ		○													1
27	すなっぷえんどう				○											1
28	せろり								○							1
29	ちんげんさい				○											1
30	とうがらし								○							1
31	にんにく			○												1
32	のらぼーな		○													1
33	はくさい				○											1
34	ぱぶりか				○											1
35	らっかせい				○											1
36	みずな				○											1
37	かりふらわー				○											1
38																
39	からーびーまん															
40	きぬさや															
41	けーる															
42	ししとう															
43	ししとうがらし															
44	ずっきーに															
45	そらまめ															
46	ちーまでいらーば															
47	にら															
48	やーこん															
49	やつがしら															
50	やまいも															
		17	12	10	28		6	8	19						9	

城址側					
A 1.	2.	3.	4.	5.	6.
ジャガイモ	トウモロコシ	ナス	トマト	サトイモ	タマネギ
ダイズ	ダイコン	ホウレンソウ	レタス		
B 1.	2.	3.	4.	5.	6.
ネギ	ニンジン	カボチャ	ピーマン	キュウリ	
		小カブ	ブロッコリー		

20¹⁸年

沼側

20¹⁹年

区画番号	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
A1	←	ジャガイモ	→		←	ダイズ	→					
2	←		トウモロコシ			*		ダイコン				
3	←		ナス			*		ホウレンソウ				
4	←		トマト	→		←	レタス	→				
5	←		サトイモ									
6	←	タマネギ	→									
B1	←			ネギ								
2				←		ニンジン	→					
3		←	カボチャ	→		←		小カブ				
4		←	ピーマン	*				ブロッコリー				
5	←		キュウリ	→								
6												

課題と選定理由など

- トマトが近くにある時は、ジャガイモの葉が枯れたら早めに収穫する。
- 種類が多いが春夏・秋冬と分けられ圃場なので思ったより混雑はない。ただ連作障害の危険は生じる。
- ホウレンソウ今年には作付けする。酸度調整が難しいがPH値が6.0であれば可能。
- ブロッコリー、レタス〈育苗〉ポットで
※ コンバオール、プランツにネギを使用する。

沼側

区画面積 6.1m×2.6m 15.9 m ² 4.81 坪	A	B	C	D	E	F	G	H
	カボチャ	オクラ	エゴマ	里芋	ジャガイモ	人参	小麦	玉ねぎ
	ノラホウナ	大根	小松菜		深山小蕪	トマト		大豆

城址側

2018年

2019年

区画 番号	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
A	カボチャ		定植			採種 収穫						
	ノラホウナ							播種				
B	オクラ		播種			収穫 採種						
	大根							播種			収穫	
C	エゴマ		播種			収穫 採種						
	小松菜							播種		収穫	収穫	
D	里芋		植付け							収穫		
E	ジャガイモ	植付け			収穫							
	深山小蕪							播種		収穫		
F	トマト		定植			収穫 採種						
G	小麦				収穫							
H	玉ねぎ 大豆		収穫			播種		播種		収穫		

課題と選定理由など

課題

1年目は、苗を買って畑に定植して育てることで精一杯でした。

2年目は、播種して自分で苗を作り作物を育てました。

3年目の今年、播種から採種まで作物の一生を見ることが課題です。

作物の栽培は普通、収穫に重きを置き出来の良い作物を収穫することが目的です。

それは種が手に入るのが前提。

昨今の状況を考えると、種を守る一助となる採種技術を学び身につけるのが目標です。

理想ですが…

沼側

区画面積 6.1m×2.6m 15.9 m ² 4.81 坪	A	B	C	D	E	F
	とまと (6月～8月)	さといも・しょうが (6月～11月)	ねぎ (6月～11月)	なす (6月～8月)	キュウリ (6月～8月)	にんじん (6月～8月)
	だいこん (9月～11月)			玉ねぎ播種 (9月～11月)	玉ねぎ播種 (9月～11月)	
	玉ねぎ (11月～5月)	玉ねぎ (11月～5月)	玉ねぎ (11月～5月)	にんにく (11月～5月)	玉ねぎ (11月～5月)	玉ねぎ (11月～5月)

城址側

2018年

2019年

区画	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
A		玉ねぎ	▲ ▲		とまと		▲ ▲	だいこん		▲ ▲		玉ねぎ
B		にんにく	▲ ▲		さといも・しょうがの混植					▲ ▲		玉ねぎ
C		玉ねぎ	▲		▲	ねぎ				▲ ▲		玉ねぎ
D		玉ねぎ	▲ ▲		なす		▲ ▲	玉ねぎ播種		▲ ▲		にんにく
E		玉ねぎ	▲ ▲		きゅうり		▲ ▲	玉ねぎ播種		▲ ▲		玉ねぎ
F		玉ねぎ	▲ ▲		にんじん				▲ ▲			玉ねぎ
育苗箱に播種・育苗 ▲ なす、とまと、きゅうり ▲				ネギの栽培 管理圃場で、農教室と同じ日の3/31(土)に、同じ種の播種を行いました。今後、私の圃場で、農教室と同時並行で栽培管理、収穫を行う予定です。苗が余ると思うので、7月7日(農教室の定植予定日)頃、希望があればお分けします。								

補足説明:

- (1) 昨年9月に播種の玉ねぎは、現在、圃場全体で、順調に生育中で、5月末に予定通り収穫できる見込みです。
- (2) 昨年11月に植え付けたニンニクは、現在順調に生育しており、5月末収穫予定です。
ニンニクは、種球が高価なので、今年も自家採取して栽培の予定です。
- (3) なす、トマト、キュウリは、4月に育苗箱で播種、6月に畑に定植する予定です。
- (4) 今回、初めてネギを栽培します。(今年、農教室でネギの作物講師を担当)

課題と選定理由など

(1) 玉ねぎの苗づくり

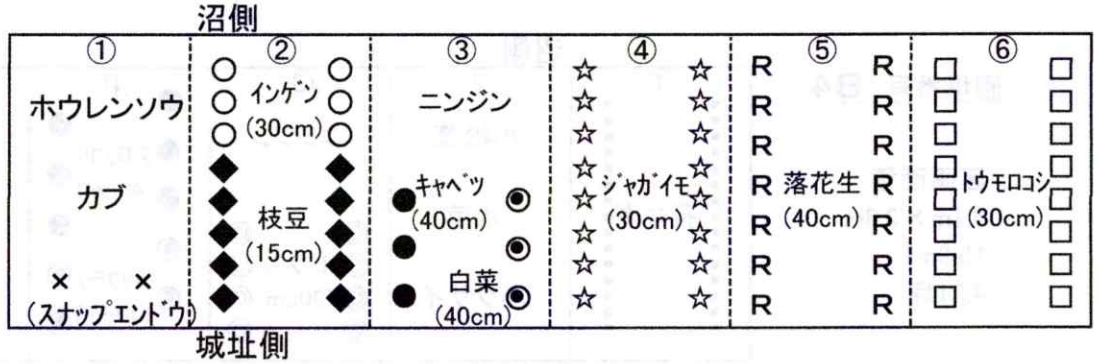
昨年、播種の時期を何回かに分けて行った結果、現在生育状況にかなりの差があり、5月末の収穫まで、どのような結果になるか注目です。特にとう立ち(抽苔)の割合がどの程度になるかが問題です。今年、秋の播種は、この結果を見て、良い結果が得られるよう検討し再度、播種時期と収穫の関係について調べてみたいと思います。昨年8月初旬に蒔いた種は非常に大きく成長していますが、今後、とう立ちがどの程度発生するか注目したいと思います。結果が良ければ今年も8月の播種の割合を増やしたいと思っています。早すぎる播種はとう立ちの原因と言われています。

(2) 嫌気性ぼかし肥料の作成

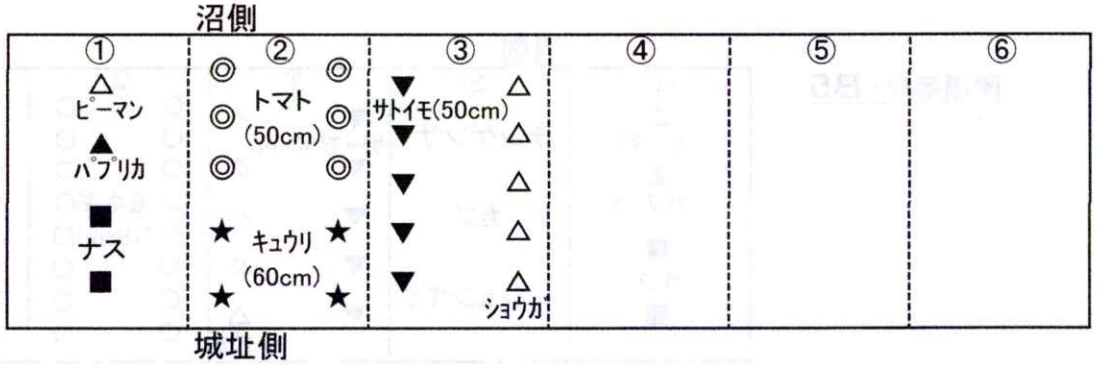
昨年、嫌気性ぼかし肥を何度か作成しましたが、夏場に作成したものは、ウジがわいたり、腐敗臭などで失敗でした。今後は、6月～8月までの夏場は、作成を控えます。今年には既に2月と3月に2回作成しました。1回分、約30Kgを作成。昨年、なす、キュウリにぼかし肥を使用し大きな効果が認められました。特に茄子、大根の生育状況は非常に良かった。今年も、一度、特別コースで、ぼかし肥の作成の実習を予定したいと思っています。約1時間
1回の作成30Kgの材料費:約500円(米ぬか、もみ殻、牛ふん、油かす……)

圃場番号: B4

区画面積
6.1m × 2.6m
15.9m²
4.81坪



圃場番号: B5



区画番号	栽培作物	2018年						2019年					
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
B4-①	ホウレンソウ(サラダ)	◎		■									
"	カブ(四季まき)	◎		■									
"	スナップエンドウ	▽		■									
B4-②	インゲン(テンダーグリーンPB)	◎		■									
"	枝豆(湯あがり娘)	◎		(トンネル)		■							
B4-③	ニンジン(春夏まける)	◎		■									
"	キャベツ(金系201号)	▽		■									
"	白菜(晴舞台65)	▽		■									
B4-④	ジャガイモ(男爵)	▼		■									
B4-⑤	落花生(千葉半立)	◎		■									
B4-⑥	トウモロコシ(サニーショコラ)	◎		(トンネル)		■							
B5-①	ピーマン		▽	■									
"	パプリカ		▽	■									
"	ナス		▽	■									
B5-②	トマト		▽	■									
"	キュウリ		▽	■									
B5-③	サトイモ		▼	■									
"	ショウガ		▼	■									

※:種まき(苗) ▽:苗の定植 ◎:種まき(直播) ▼:植え付け —:生育期間 ■:収穫時期

課題と選定理由など

・課題は、
 1. 比較的粘土質の土壌(表面はボソボソ)で、作物の適・不適を見極める。
 →できるだけ多作物に挑戦
 2. 肥料の効果を確認する。
 3. マルチ・トンネルの効果を確認する。
 ・選定理由は、
 1. これまでに体験農園で経験のある作物を作って、当時の育成状況と比較してみたい。
 2. 体験農園では肥料の知識が不足していたので、堆肥・追肥を実践して有効性を体験したい。

五 七 十

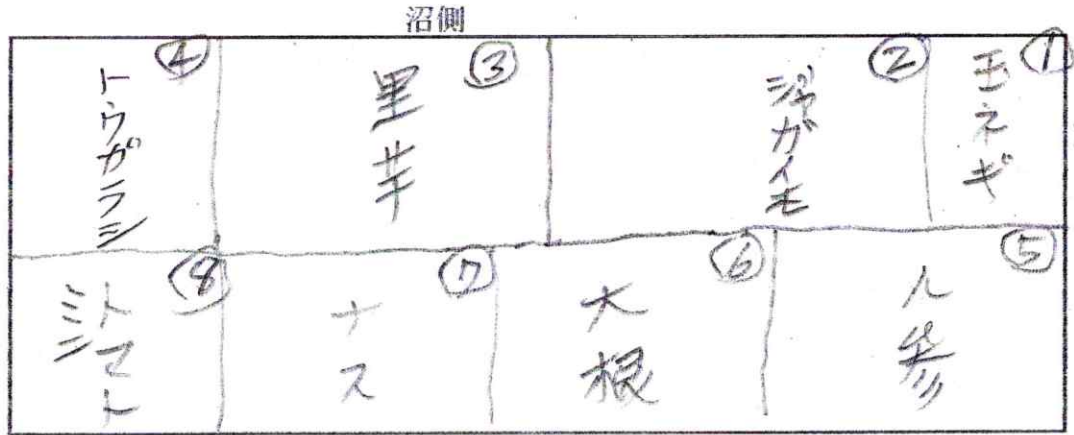
一 二 三
十 九 八

里 任
一 二 三

じやかゝい毛
里 任

しやかゝい毛

区画面積
6.1m × 2.6m
15.9 m²
4.81 坪



2018年

2019年

区画番号	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
①	玉ねぎ											
②	ジャガイモ											
③	里芋											
④	トウガラシ											
⑤	人参											
⑥	大根											
⑦	ナス											
⑧	トマト											

課題と選定理由など

1. 肥料の方針

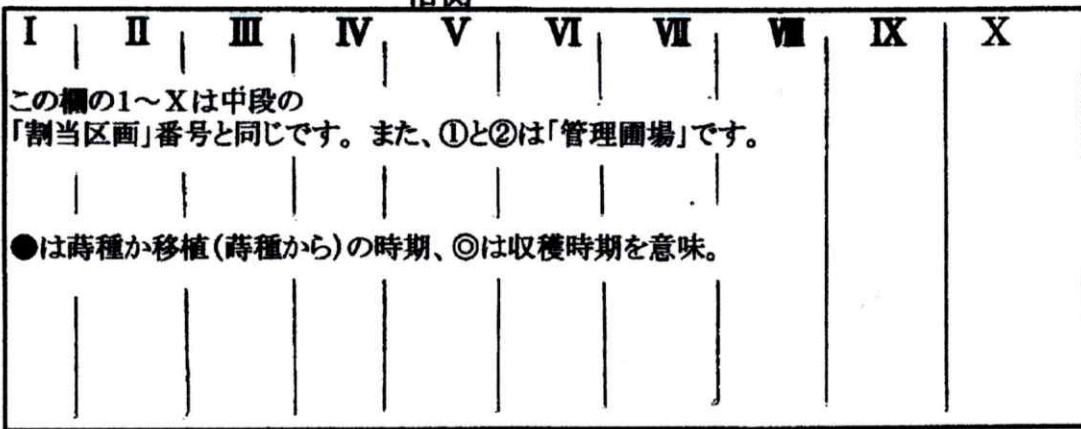
昨年に続き 1月中旬、牛ふん 6kg + 米みか 1kg の元肥 散布。追肥はぼかし使用。化成肥料不使用。

2. 2018年度は 昨年の6種から、8種に増やしてチャレンジする。

3. 課題作物の里芋は、従来の畑から、追加で借用した畑に植付け連作障害の有無確認する。

沼側

区画面積
6.1m×2.6m
15.9 m²
4.81 坪



城址側

2018年

2019年

区画番号	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
I	割当圃場	●	○ネギ		○タマネギ	●			○	秋ダイコン		
II		●				○	トウモロコシ		●		○シュンギク	
III			●	●		○	オクラ					
IV		○ネギ	●	●			○ナス	○ピーマン				
V		●					○サトイモ					
VI		●				○ブロッコリー						○ネギ
VII		●				○春ダイコン						○キャベツ
VIII		●				○ホウレンソウ			●		○ニンジン	○コマツナ
IX		●			○レタス	●			○セロリ			
X		●			○ポテト	●			○	秋ダイコン		
①	管理圃場		●			○地這キュウリ						
②			●					○カボチャ				

課題と選定理由など

課題: 良く耕作する。蒔種時期と収穫時期をもう少し考える。

選定理由: 昨年のミスを多少でも取り戻す。

冬の寒さの件: キャベツ、シュンギクなど冬の対策を考えなかった。

肥料の件: ヒマワリはOKだったが、ナノハナは失敗。

上記2件は「ベランダのプランター」と「野外の畑」の違いも考えられた。

